

雜 錄

**關東地方鑄物懇話會第1回總會** 關東地方鑄物懇話會第1回總會は5月19日午前10時より丸の内鐵道協會館に於て開かれたが關係方面名士多數出席し松浦春吉氏開會の辭を述べて座長推薦を諮り滿場異議なく諏訪常次郎氏を座長に推薦して議事を進め役員選舉に移り理事及評議員を座長指名の下に理事長工學博士石川登喜治氏、常務理事、牟田易太郎氏、松浦春吉氏、諏訪常次郎氏、理事及び評議員を異議なく可決し、理事長石川登喜治氏の就任の辭、澁澤正雄氏、東京アルミの笹部氏、川口鑄物同業組合長代理佐倉副組合長、川口町小林英之助氏等の祝辭演説、淺野總一郎氏からの祝辭電報の披露等ありて閉會。

總會閉會後午後1時より同所に於て講演會を開く來聽者300名以上頗る盛會にて午後4時半散會、講演題目及講演者は次の如し。

- 我國鑄造技術の進歩に就て……………浦賀ドック鑄造部長 鈴木庄藏氏
- 齒車の鑄造法に就て……………工學士 名古屋三吉氏
- 不良鑄物に關する研究……………工學博士 石川登喜治氏

午後6時より同所食堂に於て晚餐會を催す出席者80餘名に達し多數有志の卓上演説あり充分の歡を盡し最後に萬歳を三唱し午後9時散會。

**關西鑄物懇話會創立總會** 5月26日午後1時より大阪鐵工業會館に於て關西鑄物懇話會創立總會を開催す來會者多數、戸波親平氏議長となり議事を進め役員選舉に移り理事井上太一氏外29名を指名發表し更に互選の結果理事長に久保田權四郎氏、常任理事に戸波親平氏當選し總會を終る。次に講演會に移り來聽者300名以上頗る盛大を極めた。

- 鑄鐵の性質に及ぼす含有諸元素相互の影響……………大阪工業大學講師 清水要藏氏
- 鑄造工業の科學化……………三菱神戸造船所技師 百々初男氏
- 鑄物の沿革……………釜吉鑄造所主 内田仙太郎氏

講演會終了後懇親會に移り戸波常任理事開宴を告げ久保田理事長の祝辭、諏訪常次郎氏關東鑄物懇話會を代表して祝辭を述べ、最後に萬歳を三唱して盛會裡に散會。

**歐洲製鐵業者の締契組織並に輸出機關に就て** 本文の記事は1929年3月倫敦に於ける日本の相當信用ある某商事會社の調査に成るものなるが英國並に歐大陸諸邦に於ける掲題事項の情勢を窺ふに便宜不尠と思料せらるゝに付茲に抄譯して参考に資せんとす。

一、**國際的諸協約** 戰前歐洲製鐵業者の間に存在しておつた生産並に販賣價格に關する諸協定は、それ等の製鐵業者が大戦により大打撃を蒙つた結果として、戦後に至り大部分は復活され、且つ過去數

年間に幾つかの新協定が成立した。次にその主要なるものを摘録することとする。

イ、國際鋼塊協約 (即 歐洲粗鋼シンジケート)

(International Ingot Steel Association or European Raw Steel Syndicate)

國際鋼塊協定 (I, I, S, A) は獨逸、ルクセンブルグ、白耳義、佛蘭西、並にザールの 5 團體から成立つて居る。各團體は I, I, S, A, に來て夫々その團體のために仕事をする人を決めてある。

該協約の機能は生産の調節であつて、價格の點には何等關係を持たない。團體は各鋼塊製造能力に對し一定の割合迄で生産することが出来る。1927 年 4 月より九月に至る 6 ヶ月間の團體別生産割當額を示せば次の通りである。

(單位噸)	獨逸	佛蘭西	白耳義	ルクセンブルグ	ザール	計
	6,322,500	4,566,500	1,692,500	1,215,500	846,500	14,643,500

若し或る團體の生産が割當數量を超過する時は、その超過噸數に對し一定の罰金 (初めは噸當り 4 弗、現在は減額されて噸當り 1 弗) が課せられる。獨逸は常に生産割當數量を超過する。自然獨逸の支拂ふ罰金は實際の生産が常に割當額に足りない佛蘭西に取り入れられることになつた。

ロ、國際レール製造業者協約 International Rail Makers Associations (I, R, M, A.)

米國法では米國の會社が外國人と、カルテルを組織することを禁じてあるから I, R, M, A, は表向き成り立つて居る事に出来ない。即ち I, R, M, A, は非公式に仕事をして居る。米國の利益はウイリアムピート氏が代表することになつて居る。

I, R, M, A, の組織、歐大陸諸邦 (チェツコスロワツク及ポーランドを含む) 及英國に於けるレール製造業者の凡てを網羅して居る。

I, R, M, A, の活動、各工場主腦者は特に變更なき限り各 6 ヶ月毎に 1 回會合し、價格の決定其の他の事項につき協議する。現協約は 1929 年 3 月末日迄有効である。各國のレール製造業者は夫々團體を組織して居る。即ち

獨逸 鐵鋼組合、白耳義 白耳義製鋼組合

(これは 2 團體より成り、コツカーリル工場並にウーグレマリハーエ工場團を抱括して居る白耳義商榮會社内に事務所を置く)

ルクセンブルグ コルメタ、佛蘭西 佛蘭西鐵冶金組合、チェツコスロワツク、及ポーランド 兩國は輸出貿易に關係を持たない。

各團體には倫敦に代表者が置かれてあつて毎月曜及土曜日に會合する。倫敦における代表者は每半年か又は臨時に開いた會合で、製鐵業主腦者が決定した協定最低賣價以外の値段を取扱ふことは出来ないが、各工場の割當はその裁量に一任されて居る。倫敦における代表者の委員長はサー、ウイリアム、ビー、ピート氏である。

倫敦委員會は別に事務所を持たず、ピート氏の事務所に集まる。倫敦委員會は會社又は協會として存在して居ないから外部と直接の文書往復はして居ない。

事務處理。見積注文書は倫敦に於ける會社代理店に來る。代理店は之を各工場に送附する。各工場に於ては注文を引受くるや否やの意見を附し之をその國の團體本部に送附する。若し或る工場が注文を引受けたい時には製品引渡し期限を明示する必要がある。工場團體本部はかくして各工場より來れる回答を取纏め之を倫敦に於ける代表者に送附する。そこで割當數量よりも生産高が尙不足して居る國に注文が割當てられる事になる。その割當は勿論其の國の全軌條生産能力によつて定まるのであるが、その國にしても先づ倫敦代表者に最後の回答をなす前に鋼塊シンジケートから割當てられて居る鋼塊數量を考慮して軌條引受け噸數を考へねばならない。これは生産過剩に對する罰金をなくせんが爲めである。割當を引受けた國の工場團は I, R, M, A, が協定して最低値段を c, i, f, で見積つて出す。その他の國の工場團は辭退するか、又は 5 分高く見積ることになつて居る。米國又は英國が割當を得たる時には、凡てその他の國の工場團は 1 割高に見積ることになつて居る。5 分の増は材質を平爐鋼にするためである。これは英米兩國は平爐鋼材のみを賣つて居るからである。注文後に至り購入者が材質を鹽基性轉爐鋼から平爐鋼に変更し、従つて割當を覆す様な場合には最後に該注文を引受けた國の工場團の割當は、その噸數丈け後で差引かれることになる。

或る國の工場團が割當を一旦引受けた以上、後からこれを取消すことは出來ない。若しその商取引が途中で満足に行かなくともその割當丈けの權利は無くなることになる。斯様なことは、將來規定を變へなければ（不都合なことであるから）ならない様に考へられる。現在の通りならば工場團は、見込のある取引でなければ、割當引受を希望しなくなる。此狀勢は云ふ迄もなく、どの國の工場團にも等しく影響を持つて居る。

I, R, M, A, につきては初めから不満足があつた。第一は價格についてであり、第二は割當數量についてである。I, R, M, A, は此後永續すまいとは一般の評である。然しかゝる風評は信じたくない。

スリーパー（鐵枕木）。該品は I, R, M, A, で調節して居ない。然し過る數ヶ月の間喧ましい議論があつた、恐らく、スリーパーは I, R, M, A, によつて調節されることにならう。

ハ、國際線材シンジケート (International wire rod syndicate)

1927 年 6 月、獨、佛、白、ルクセンブルグの間に線材の生産調節に關する申合が出來、10 月 1 日に至り確實にシンジケートは成立した。國別割當額は下記の通りである。

獨逸	佛蘭西	ルクセンブルグ	白耳義
1,000,000 噸	400,000 噸	120,000 噸	260,000 噸 乃至 280,000 噸
57.2%	23.0%	6.0%	14.0%

割當は内國向きと、輸出向きとで別々に額を定め、輸出數量が輸出割當を超過すればその 1 噸毎に 5 志の罰金を課し、之を白耳義リエージ市に置かれてある調節監理所本部に支拂ふことになつて居る。

## 二、英、米、兩國間に於ける販賣價格協定 (Price Agreement between U. K. & U. S. A.)

(い) 鋳力板 公式に發表されては居ないが、1928年9月某日 英米兩國の鋳力製造業者間に世界鋳力市場の分割協定が行はれたことは衆知の事實である。協定の詳細、知る由なきも、その原則は世界の鋳力市場を先づ幾つかに区分し、之を兩國間に分割したもので、一方の國は自分に割當てられたる國の市場に於ては他の一國と全然競争がないことになつた。分割の割合は英國 6、米國 4である。

(ろ) 電機用薄鐵板 過去數年間、英米電機薄鐵板製造業者には輸出價格につき堪えず秘密協定が行はれ満足なる成果を収めておつた。然るに昨今、獨逸が矢張同一製品の供給者として輸出市場に現はれ手強き競争者となつた。英米兩國の製造業者が如何に此の困難に打勝ち、輸出貿易に於けるその名聲を維持するかは興味ある問題である。

### 二、英國に於ける諸組合

#### イ、鐵鋼協議會 (National Federation of Cast Iron and Steel Manufacturers)

本會は英國製鐵工業界に於ける組合中最大のものにして一流製鐵業者の殆んど總てを網羅して居るが、最近迄單に統計並に報告類を作成するのみで長く逆境にある英國製鐵業の振興に對しては特に寄與する所がなかつた、然るに過去2年間に於て本會は此の困難なる現狀を打開するため下記兩方面に非常なる努力をなした。即ち

#### (一) 鋼材の輸入防遏 (二) 外國市場に於ける外品製品との競争

第(一)の目的を達成するため本會々員たる製鐵業者が1927年9月に採用した方策は(一)英國製品(鋼材)購入者に対する價格の割引 (Rebate System for Consumers of British Steel Materials) である。割引方法の概要は次の通りである。

(1) 向ふ6ヶ月間鐵鋼協議會々員たるメーカーからのみ鋼材を購入する消費者又は問屋に對してはI型鋼1噸に付7志6片の割引(スライディングスケール附)をなす。

(2) 割引は實消費者及問屋に限り行ひ一般の商人には割引させぬ。又内國市場限りで輸出取引には適用しない。

かゝる割引方法が大陸より英國への鋼材輸入防止に役立つ事は確かであるが、然しその効果は部分的である。従つて保護關稅を設くべきか否かの問題は依然として解決されない。而して多數の人々は、英國製鐵業者は今や英國に於ける斯業の困難を救ふ途は關稅の保護による以外適當な方法がないと信ずるに至つたと考へて居る。

次に大戰以來、殊に1926年に於ける石炭同盟罷業の結果失はれた海外に於ける市場を回復し第二の目的を達すべく案出されたのが(二)輸出促進機關の設置 (Export organization of Federation) である。本機關は1927年秋初めて提案せられ、1928年8月に創始された、規約の内容は次の通りである。

(A) 1928年1月1日以降凡ての英國メーカーは鋼塊生産噸當り6片宛の割合にて掛金をなすこと。

(B) 掛金は英國殖民地並に附屬地（是等の地方に於ては内國値段を適用す）以外の外國市場に於ける。競争のために使用する。

本機關は I, R, M, A、と殆んど同一形式にて組織され、表面には表はれて居ない。従つて事務所を持たない。然し毎日委員長サー、ウイリアム、ビート氏の事務所に會合する。委員は 15 工場の代理者から成立ち、毎日會議を開き各自見積注文書の全部を持寄り打合せをする。見積注文書は何れも工場の實情に應じ最善の考慮を拂はれ、全體の競争力を強むべく處理されることになつて居る。

ロ、英國薄鐵板製造業者組合 (British black Sheet Association)

本組合は主なる英國薄鐵板製造業者を網羅して居る。若干加入せぬものも居るがその生産額は云ふに足らず。且つその製品は組合加入者の製品程外國市場に於て好評を持つて居ない。

東方輸出株式會社 (Oriental Steel Co. Ltd.) は本組合の輸出方面の仕事を取扱ふために特に設立された會社である。組合員の工場の生産能力は販賣部長の手に左右されることになつて居る。そして彼は毎月第三水曜日に開會の組合會に於て決定せらるゝ最低賣價以上の値段ならば、割當數量迄の種類を賣捌くも自由になつて居る。品物の或種類に對する割當數量が賣盡された時には、他種鋼材の賣行きに便するため賣切れた種類の價格を引上る。

東方輸出株式會社は東京に對日本代理店を有つて居る。ウイルディング氏が 1928 年より 1929 年間の代表者である。

ハ、南ウエールズ鋳力組合 (South wales Tinsplate Corporation Ltd.)

本組合はリチャードトーマス株式會社の創始にかゝり、英國一流鋳力製造業者の大部分を網羅し、英國全生産額の殆んど 4 割に對する販賣權を持つて居る。組合員は下記の通りである。

Richard Thomas & Co. Ltd., The Grovesend Steel & Tinsplate Co. Ltd., The Kidonelly Tinsplate Co. Ltd., W. Gibertson & Co. Ltd., The Aberavon Tinsplate & Stamping Co. Ltd., The A Shburnham Tinsplate Co. Ltd., The Baglan Bay Tinsplate Co. Ltd., The Ferry Tinsplate Co. Ltd., The Efrwdwyht Co. Ltd., The Resolven Tinsplate Co. Ltd., (1929)

組合員は毎 3 ヶ月置きにバーミングハムに於ける組合員外の工場代表者と會合し、最低販賣値段を決定する。前記の協定に關し米國との協商は組合代表者に一任されてある。

ニ、I, R, M, A、の一組合員としての英國 英國のメーカーは I, R, M, A、に加入しその割當は 4 割 3 分である、英國海外領土は英本國なみに取扱はれる、I, R, M, A、との協定に於ても是等の領土は矢張り英國製造業者に割當てらるゝことになつてゐる、英殖民地は世界に於て最大なるレールの購入者である、I, R, M, A、の成立以前には大陸製造業者の多數は是等の英殖民地から澤山注文を受けるが常であつた、然るに I, R, M, A、成立後その取繼ぎなしに、英國が殖民地から直接の注文を引受け得る立場におかれた事は、過る半歳の間に英國側組合員と大陸側組合員との間に、種々疎隔を惹起した、そして 1929 年 3 月 1 日パリに於て開かれた I, R, M, A、の會合では次の如き諸問題が組合員間に白熱的に論議された。

(a)英國のメーカーが I, R, M, A. の仲介なしに南米諸國へ軌條を販賣することを中止すること。

(b)英國殖民地に於ける販賣割當を他の諸國にも與へるやう英國に承諾せしむること。

以上にして不可能ならば

(c)I, R, M, A. の取繼なく英國メーカーの引受注文高に對し罰金を課すること。

然し之等に就て何等纏まる所はなかつた、若し大陸側の製造業者が餘りに此の要求を固執するならば英國は I, R, M, A. から脱退するかもしれない。

### 三、歐洲大陸諸國に於ける組合

#### イ、獨逸

(一) 製鐵所の合同。あらゆる工業に行きわたつた合同並に合理化の大勢に洩れず多數の製鐵所間に過去數年間に於て大合同が行はれた、下に示すものは現在に於ける獨逸メーカーの總てと獨逸鋼塊組合から各工場が振當てられた鋼塊年生産割當額である。

獨逸鋼塊組合年生産額割當表(1928年1月現在)

合同製鋼株式會社	6,690,818 噸	レッヘリング製鋼會社	493,000 "
フリードクルツプ	1,792,085 "	マキシミアンヒュツテ製鐵所 (レヘリング)	387,776 "
グーテホフマングスヒュツテ	1,080,542 "	ライン金物機械製造會社	87,532 "
ヘツシュ製鐵鋼會社	897,647 "	セツクジツヒ鑄鋼所(デエーレン)	150,000 "
クレツクナー會社	893,203 "	ターレ製鐵所	104,357 "
中部獨逸製鋼會社	646,714 "	ホルジツヒウエルク會社	185,900 "
イルゼーデル會社 パイナーワルツウエルク	570,074 "	ローテエルデ製鐵所(アルベット)	215,321 "
上部シレジーン製鐵會社	} 412,000 "	プールバツハ製鐵所(アルベット)	503,000 "
上部シレジーン鐵道必需品會社		獨逸特殊鋼會社	93,575 "
マンネスマン鋼管會社	404,879 "	プレスウントワルツウエルク	88,200 "
ストルヒウントシエーネベルヒ會社	106,000 "	獨逸製鋼壓延會社	120,000 "
ベルグバウウントヒュツテン會社	84,000 "	ヘンリツヒスヒュツテ製鐵所	218,308 "
「フリドクツヒスヒュツテ」(チツセン)			
ガイスワイド製鐵所 (チツセンゾークレツクナー)	150,797 "		

合同製鋼會社はアウグストチツセン團及オットーウルフの合同したるものである。

(二) 製鋼組合 下記のは獨逸に於ける主要なる製鋼組合である。

(イ) 鋼塊組合 組合は各工場團の鋼塊年生産割當を決定する(詳細は三、(一)参照)

(ロ) 鋼管組合 組合員の年産割當額を%にて示せば次の如し。

合同製鋼株式會社	50.898%	エツシュワイレルセルクウ エルクフェライン	2.546%
マンネスマン鋼管株式會社	17.040%	ライン金物機械製造會社	2.100%
ライスホルツプレスウ ントワルツウエルク會社	6.407%	カンメル會社	1.507%
ハーンウラエルク	6.109%	ハル鋼管會社	0.692%
中部獨逸製鐵所	5.500%	ザスラーテンニンゲン 機械鑄鋼株式會社	0.400%
新キルヘン製鐵所	3.631%	計	1.000%
上部シレジーン製鐵所	3.170%		

獨逸鋼管シンジケートは佛、白、並ザール間に販賣價格並に受注割當につき協約を作つておる。

(ハ)線材組合 鋼塊組合の主なる組合員は亦此の組合員である。

組合員の名稱とその年産割當額下の如し。

合同製鋼株式會社	460,357 噸	クライウイツ	81,000 〃
グーテホフヌンクスヒユツター グループ	375,695 〃	ヘヒリング	73,869 〃
クレックナー	138,916 〃	ノインキルヘン	55,000 〃
フェルトンウントギレアウメ ベツキング會社	130,428 〃	ウイツテン	46,330 〃
メツシツユ	95,303 〃	計	1,540,896 〃
ローテエルデ	84,000 〃		

組合は直径 13mm を超へざる線材につき協定し又輸出につき協定をやつておる。

(ニ)鎖製造業組合 (ホ)ボルト及ナツト組合 (ヘ)貨車製造用鐵材組合

(三)鐵鋼組合 本會は凡ての組合その或者に就ては既に述べたがその上に立つておる最高機關である。國內に於て生産される凡ての鋼材は本組合によつて調節され販賣される、事務所はデュスセルドルフに置いてある。然し信用せる代理店を通じてのみ製品を販賣する。そして棒鋼と線材とは賣上から代理店の利益を生み出さねばならないが他のものに對しては鐵鋼組合からコミッションを受ける様になつておる。

ロ、白耳義 白耳義にはそれ程でない製品に對し組合が出来ておるが、獨逸に於ける鐵鋼組合の様な大規模のものはない。

白耳義は I、R、M、A、の一組合員である。前述せる如く獨、佛、ザール間には瓦斯管の販賣値段について協定がある。

ハ、ルクセンブルグ ルクセンブルグの製鐵業は下記 2 團體を抱括する大組合によつて全く支配されておる。

(一)テルルージ冶金會社 (二)ブルバツハ、アイヒ、デウデランゲ合同製鐵會社 コルメタ (ルクセンブルヒ冶金組合) は前記工場製品の販賣總代理店である。

ルクセンブルグは I、R、M、A、の一組合員である。

ニ、佛蘭西 佛蘭西にも製鐵組合があるがこれは内國市場に對し販賣價格を調節するのみである。其他小なる組合は若干存在しておる。

佛蘭西は I、R、M、A、の主なる組合員である。

又獨、白、ザール間に瓦斯管につき協定を有することは前述の通りである。(海外鐵鋼情報第十九號 昭和 4 年 5 月 30 日 鐵鋼協議會投稿)

鈴木製鐵所參事海外通信第7便 (販賣旬報第95號 鈴木參事海外通信 特輯號) 昭和4年6月15日

## 目 次

- |                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 一、獨逸鐵鋼聯合會 (獨逸鐵鋼界小觀其 1)     | 五、獨逸工場雜見 (同其 5) |
| 二、合理化運動の行詰りと生産原價の底入 (同其 2) | 六、大陸鐵價の將來如何     |
| 三、獨逸の鐵鋼工場は引合つて居るか (同其 3)   | 七、歐洲の半製品市場      |
| 四、ロースキー氏と語る (同其 4)         | 八、歐洲鐵鋼業合理化運動の成果 |

一、獨逸鐵鋼聯合會梗概(Stahlwerks-verband) (獨逸鐵鋼界小觀其の1) 獨、墺、波、致4ヶ國の聯合會 大陸鐵鋼界を鳥瞰するに當つては、先づ獨、墺、波、致4ヶ國に於ける鐵鋼會社の一團と佛、白、ルクセンブルグ3ヶ國に於けるものゝ一團とを區別して觀察することが便利である。こゝに若干の解説を試みむとするのは其の前者の一團に關する事である、此前者の一團は獨逸國內の鐵鋼會社を中心とし墺、波、致3ヶ國內の會社を準會員とし、強力なる鐵鎖を以て結合したる1個の聯合會(Verband)を組織して居る。此の聯合會は内に向つては生産販賣の調節機關となり、外に向つては國際的協定乃至聯合の構成員として、和戰兩様の準備と實力とを蓄積しつゝ、此の4ヶ國の各工場の全部を擧げて恰も1個の會社の下に在る工場たると全然同様の機能を發揮せしめつゝある。4ヶ國內に在る各會社は之を靜的に見れば各個獨立した會社であるが、之を動的に見れば宛然たる1個の會社である。各會社を米國の各州と見れば、此の聯合會は華盛頓政府である。

企業の合同と所謂コンサーン(Concern)の完成 斯かる聯合會(Verband)の組成員たる會社は、斯かる聯合會を組織する前後に亘つて思ひ切つたる合同を完成した。強大なる會社が他の弱少會社を併合したことは勿論群少の諸會社が相合併して1個の強力なる會社を作り上げた。従つて現在1個の會社は、國內到る處に幾多の工場を持つて居る。斯の如く數多の會社又は工場が1個の資本に統一された沿革を觀念の中に置いて、斯かる1個の資本の下にある數多の工場の一團を所謂コンツエルン(Konzern)と呼ぶ。試みに各コンツエルンの中、聯合會から年額50萬圓以上の生産割當を受けて居る會社を列記して見ると次の通りである。

Konzern	Quote (1928)		
Vereinigte Stahlwerke	6,690,818	Klockner Werke	893,203
Krupp A. G.	1,792,085	Mitteldeutsche Stahlwerke	646,714
Gutehoffnungshütte	1,080,542	Ilseeder Hütte	570,074
Eisen-& Stahlwerke Hösch	893,647	Burbacher Hütte	503,000

上は獨逸國內に於ける有數なる會社ではあるが、この外に40萬臺に3社、30萬臺には無く20萬臺に2社、10萬臺に6社と云ふ見當である。これらの會社は其の資本の下に在る數多の工場を統率して聯合會の構成員と爲つてゐるのである。

聯合會の内容及機能 聯合會は形式上株式會社となつてゐるが、其の株主たるべきものは前記各社に限るものとし、株式の賣買を許さぬ。聯合會の下に在る各社に對する工場操業下命權と販賣權の全部



とを掌握することを目的とするが故に素より營利的會社でない。此の中央機關たる會社に關する經費は割當に應じて各社に分擔せしめらるゝが故に結局は損益はない。

聯合會の業務としては、(イ)販賣價格の決定 (ロ)各工場への注文割當 (ハ)及各社間の交互計算事務の中央機關たるべきこととなつて居る。聯合會は販賣事務を基調とする全國工場操業の調節を目的とする見地から、社内に5個の部門に別ちたる職制を設けて其の事務を分掌せしめてゐる。

第一部 構造用品 (軌條を含む)	(Oberbau Abteilung)
第二部 市場向棒鋼部	(Stab Eisen " )
第三部 型鋼及半製品部	(Form Eisen & Halbzeug " )
第四部 帶鐵類部	(Band Eisen " )
第五部 鋼板部	(Glatt-blech " )

聯合會は其の高宏雄大なる事務所を Dusseldorf に有つ。其の凡ての製品の凡ての注文は一切ここに集り、其の諸否並に値段を決定し、各工場に向つては買手と爲り、外部に向つては賣手となるのである。其の國內消費と海外輸出とを問はず、苟も前記4ヶ國に入り來る需要も供給も必ず前記の各部門の孰れかを通じて出入せねばならぬのである。斯くして此の聯合會は、内に向つては中歐全土の工場操業を完全に統帥し、外に向つては強固なる一大工業帝國としての版圖を統治しつつあるのである。

鋼管聯合會と線材聯合會 此の聯合會の分身として鋼管聯合會 (Röhren-verband G. M. B. H) 及線材聯合會 (Verband der Vereingten Drahtwalzwerke) がある。這是中央聯合會の第六部及第七部とも稱すべきものを便利上獨立せしめ形式上別個の會社としたるに過ぎない。鋼管及線材にても一般鋼材類同様の組織の下に同様の機能を發揮しつつあるのである。

鋼管聯合會組成員中其の主なるもの及割當額下の如し。

Vereinigte S. W.	50,898%	Mitteldeutsche S. W.	5,500%
Mannesmann R. W.	17,040	Others (7 concern)	14,048
Press & Walzwerke	6,407	Total	100,000%
Hahnsche Werke	6,109		

線材聯合會の主なる構成員及其の割當下の如し。

Vereinigte S. W.	460,357	Felten & Guillaume	} 130,428
Gutehoffnungs hütte	} 375,693	Böcking & co.	
Krupp A. G.			Others (6 concern)
Klökner	138,916	Total	1,540,896

聯合會の指定販賣人 (Verlandhändler) 聯合會は特定の商社を特定して所謂指定販賣人となし、此の指定販賣人を通ずるに非ざれば如何なる製品と雖も販賣せざるものとしてある。指定販賣人たる商社の數は會社を單位とすれば 15—6 社あるが、この 15—6 社の各地に於ける支店出張所にして獨立

に取引を爲し得るものを獨立の商社と假定すれば其の4—5倍に達すべきか。

指定販賣人に非ざる商人が獨逸鐵鋼聯合會に屬する工場の製品を買付けむとせば、必ず、此の指定販賣人より買付けねばならぬ。此の點は八幡製品に關する4社と市中間屋との關係よりも更に明瞭嚴格である。しかも八幡の4社にも對比すべき指定販賣人は國の内外を問はず自ら其の得意先に對して直接商買を爲すが爲めに市中商人の勢力は漸次減退し來り、就中資力信用の薄弱なるものは逐次淘汰されむとする傾向にある。

指定販賣人とは言ふものゝ實は各工場の販賣機關に過ぎない。聯合會に屬する工場と直接間接に資本的關係を有する者に非ざれば、指定販賣人として公認することがないからである。此の事實を以てすれば、中歐に於ける鐵鋼界は、從來商人に依りて左右せられ、商人の側より操られ居つたものが、此の聯合會の成立及活動に依りて市場管理の實權が聯合會及之と一身同體たる若干の指定販賣機關の手に收められつゝありと見るべきである。各コンサーンに屬する指定販賣人の主なるもの下の如し。

Vereinigte S. W. Stahlunion

Krupp

Krupp-Eisen Handel Glüserphlaum

G. H. H.

Ferrostahl

Klöcker

Cölcken co.

Oberschl S. W.

Eisen Export

**實際取引の概況** 此の聯合會の組織及機能を一層明かにする爲めに、假りに日本から此の地に入り込むで來る鋼材の注文が如何にして取極められ如何にして取引せらるゝかを略述して見やう。規格品又は買手から特に製造會社を指定して來たものは別とし、一般の市場向普通品例へばパー 1,000 厘の注文が日本から來たとする。當地に於ける日本商社は之を各々自己の平生の仕入先たる聯合會の指定商又は指定商に非ざる他の有力なる商人に見積を徵する。當地日本商社の幾店を通じて來たものでも、第一次には聯合會指定商の手を通じて終局には聯合會の或る部門の手にまとめられて了ふ。此の場合に於て此の聯合會部門當局の眼には日本市場の「需要の強さ」がはつきりと判らずには居られない。而して又どの手口のもがの最も競争力が強いかも判るわけである。それらを察した上で聯合會部門は、先、聯合會各工場の割當額と能力餘剰とに鑑み、確定注文となつた場合にどの工場にやらせるかの腹案を秘めつゝ、指定商に對し値段及條件を出すのである。其の値段の出し方としては、確實にとれさうな手口には眞劍なものを出す、然らざるものには若干の差別を附する傾向があることである。斯くして其の注文が確定した場合にその注文をどの工場にやらせるかは一に全く聯合會の一斷に依つて定められる。勿論、各工場の繁閑と割當餘剰額とは聯合會の手許に於て常に明瞭であるが故に這般の調節は寧ろ易々たるものでなければならぬ。従つて之を買手から見れば今度の注文はどの工場から出るとは全く判らない。實際に注文をとつた聯合會指定商にすら判らぬとの事である。況んや甲のコンサーンに屬する指定商との契約品が乙の工場から出ると言ふことは當時不斷に見らるゝ處であると言ふ。

**聯合會組織の效果** 斯かる大規模にして且秩序整然たる聯合組織が、しかも實際商取引の本流の只中に立つて之を調節管理すると言ふが如きは誠に驚異に値するものと言はねばならぬ。彼等が斯かる組織を構成したことに依つて得たる利益は極めて甚大なものである。即(イ)資本の分立に依る企業上の危険を避け、且無用の競争に依る賣價の引下を防止したること。(ロ)輸出向のものは輸出に便なる工場に割當て、國內向のものは其の需要地最寄の工場に割當つる等の方法に依り運賃其他經費を最少限度に節約したること。(ハ)全國工場の操業權を一手に收め、各工場に對し其の最も得意とするものを割當て能率の増進を圖りたること。(ニ)同一品種、同一寸法に關する凡ての注文を一括して1個の工場に割當つることを得るを以て期せずして製品單純化の實を擧げ得たること。(ホ)國內市場の管理權は勿論國外に對しては最も強力なる競争團體として分立せる場合に於ける競争力の總和以上の競争力を蓄積し得ること等を數へ得べきであらう。(5月15日書き終る 伯林にて)

**二、合理化運動の行詰と生産原價の底入 (獨逸鐵鋼界小觀其の2)**

(1) 獨逸を中心とする各鐵鋼工場は今日以上に生産原價を引下ぐる餘地ありや。有之とせば其の程度如何。與へられたる問題に對する考察は、之を、工場計算を基調とする直接經費の方面と、資本計算を基調とする間接經費の方面との双方に着眼して爲すを便宜とすべし。先第一に工場自體の作業並に運用の實際を見るに其の合理化乃至能率の向進は殆ど極端迄行はれつゝありと看取せらる。與へられたる設備を以てする能率の最高限度を發揮して恐らく人間として爲し得べきものゝ最善を爲しつゝあるに非ずや。若し夫れ工場の經營乃至管理の任に在る最高幹部が工場當務者に向つて、今日以上の能率向進を要求し、又は現状以上の設備運用の合理化を強ゆることありとせば、その人間の知能と勞力に對する冒辱なるべきか。況んや、獨逸の現状に於ては、現有する機械と設備とを敢然拋棄して、新鋭以て之に代ふべき資金を如何にすべき。更に之を原料方面に見れば炭價は辛うじて現状を支ふべしとするも、勞銀は英米との鞘寄せに依つて不利の方面に導かれ易き傾向の下に在り。所謂直接經費の節約に向つて現状以上に加ふべき餘地あるべしとは考ふることを得ず。

(2) 翻つて第二に之を間接經費の基調たる資本計算の方面に見る。余業の經營管理に關しては横には國際的生産調節の強力なる協約あり。縦には資本の驚異的大同團結と生産販賣の調節を目的とする完全なる統制あり。依つて以て資本の分立に依る企業上の危険を避け、無用の競争に依る賣價の引下を防止し、全國工場の操業管理權を中央共同機關の手に收めて、各工場をして其の最も得意とする處に作業せしめ、製品單純化の實を極端に擧げしめたるのみならず、運賃其の他の經費の節約に向つて徹底的なる方策と施設とが敢行せられたり。假りに現状以上に間接經費を節約せむが爲めに、大陸諸國を打つて一丸としたる資本の合同を實行し、生産販賣の調節を目的とする機關の完成を見たりとするも國內需要の有無相違と海外商權保持進展とに向つて全力を傾倒しつゝある現状に加ふべき如何程の餘地があるべきか。

(3) 直接間接兩經費の双方に通じて更に考へ得べき唯一の事項は、増産に依る適當分擔價格の引下

げなり。然れどもこれとて殆ど行詰りの状態と見ざるべからず。何となれば大陸に於ける合理化運動は戦時中に失ひたる海外商權の奪還を目標として行はれつゝありたる處、今や殆ど全く其の目的を達したるに近く、英米をして將に城下の盟を爲さしめむとしつゝあり。即、大陸の商權は廣き世界を狭しと迄伸張せられ、英米鐵鋼界を其の本國又は若干の殖民地迄追ひ込めたるに非ずや、假りに世界需要の總和は其の消費力の自然増加の率を超えて増大することなしとせば、大陸工場の商權は其の伸び得る限りを伸び盡したるものと看取せざるべからず。今日以上の増産が技術的に可能なりとするも、英米の反撃に依る値下りを豫想の中に加へざるの愚は學ばざるべし。況んや、莫大の資金を要すべき工場設備の徹底的立直しの行はれざる限り、今日以上の能率増進も殆ど期待し得ざるに於てをや。

(4) 資本計算と工場計算の双方に向つて爲されたる獨逸の合理化運動は今日既に其の極致に達したるものと見ざるべからず。そこに學ぶべき幾多の經驗と事蹟とを残して、後世産業史を編むものゝ好材料を作製しつゝ全國を打つて一丸としたる一大工業帝國を建設しつゝあり。工場は爲し得る限りの増産を爲し、擧げ得る限りの能率を擧げ、其の商權は内外に向つて伸び得る限りを伸び盡したりと言ふべし。斯かる合理化運動の極致は吾等の美望に耐えざる處であると共に、其反面に於て斯かる合理化運動の峠の見えたることを物語りつゝ、兼ねて生産原價の底入を立證しつゝあるものと見ざるべからざるなり。(5月15日書き終る 伯林にて)

### 三、獨逸の鐵鋼工場は引合つて居るか (獨逸鐵鋼界小觀其の3)

此の問題に關し、直接又は間接に解答を與へて呉れる數字を探し求めては見たが、僅少の時日を以てしては容易に手に這入らない。已むを得ず、此の方面に關係する當地内外人の若干に就いて其の側面觀を叩いて見た。其の綜合した處では、工場生産乃至其の經營管理の方法が極端迄合理化せられた今日に於ては、工場計算に相當の利潤を残し居るに違ひない。然し之を資本計算に付て見れば、輸入外資に對する利拂もあり、償金辨済に關する相當の分擔も課せられる。結局の處、年5分乃至8分の配當を辛うじて爲し得る現状の外觀が、その儘彼等の内面的事情と見て大差あるまいと言ふことである。即、引合ふことは引合つて居る。然し其の程度は決して贅澤や醉狂を許し得る程度ではない。資本に對する利息の最低が御申し譯け許りに配當し得る程度だらうと言ふのである。

目下の處、此の問題に就ては以上の程度より判らない。今この結論に誤りなきものと假定し、この結論より演繹し得る若干の命題を列擧して見やう。

(イ) 獨逸の工場をして僅少なながらも引合ふ迄にもち來らしたのは何と言つても其合理化運動完成の賜である。噸當約15圓の運賃と18圓強の關稅を超えても尙ほ且日本へ這入らうとする鋼材は、何と言つても安いものと云はねばならぬ。こんなに安く賣つても尙引合ふと言ふ彼等の工場經營法中には吾等の學ぶべき幾多の題材が藏されてあるではなからうか。

(ロ) 合理化運動が行詰り、生産原價は底を入れた。而して、其の企業利潤はわづかに申しわけの配當を支ふる程度であると言つても、それだから、大陸鐵價は値下げの餘地がないと言ふことにはなら

ない。一般的の値下げはとにかくとして、そこに何等かの必要が起つたとすれば、品種に依り又は仕向地に依り競争的値段を出すの餘力は充分にあるものと見ねばならぬ。従つて大陸鐵價の將來を案ずるに當つても彼等をして値下げを餘儀なからしむる事情の何物か起るや否やに依つて決定せらるゝものと言はねばならぬ。(5月10日 ケルンにて)

#### 四、ローズキー氏と語る (獨逸鐵鋼界小觀其の4)

予は大陸工場見學に先ち第一にクルツプのラインハウゼン工場にローズキー氏を訪問す。巨軀嚴容古の如し。欣然車を馳つて氏の所謂「高見町の俱樂部」に引く。會食中、予は氏に向つて次の如き質問を提出したり。

「予はこれより大陸の諸工場及取引市場を見學せむとす、氏は篤と日本の事情に通じ且現に當地方有数の工場に重職を帯ぶ、彼此相對照して言を爲すべく最も恰好の地位に在り。予が大陸工場を見るに當り如何なる點に注意すべきものなりや、願くは吾等大陸より何を學ばざるべからざるかの點を教示せよ、之を大陸に學んで日本に實行すべきものありとせば、その如何なる點ぞや」

氏之に答へて曰く

「論、多岐に亘るの煩を避けて、最も重要なる點を摘示せば、大陸の諸工場が八幡のそれに比し經營組織の如何に簡明にして作業系統の如何に單純なるかの點に注目せよ。八幡の組織の多岐にして、作業系統の複雑なる沿革上止むを得ざるの事情に基づくことも予よく之を知れり。現在に於ては最高幹部に其の人を得たるが故に、其の人格的統制と常識的管理とは、よくかの多岐複雑より來る弊害を未然に抑止しつゝ、運行の圓滿を見つゝありと雖も、一朝その統制者に人を得ざることありとせば、組織の複雑と作業系統の交錯とが、思はざる禍根となり、そこには作業の圓滑を害し、工場經營を危殆に陥らしむべき幾多の危険を包藏するものと覺悟せざるべからず。」

氏の關係するラインハウゼンの工場に於ては、最近の實蹟に於て、年額 200 萬噸近くの鉄鐵と、150 萬噸内外の鋼塊と 120 萬噸見當の製品を製出することとなるが、其の之に従事する職工數は現在 8,000 人強に過ぎずと言ふ。予の見學したる同地方の諸工場は皆之に類す。其の組織の如何に簡明にして作業系統の如何に單純なるか。而して與へられたる機械と人力とをして擧げしむる能率の如何に巨大なるか氏の言を爲す宜なる哉。

#### 五、獨逸工場雜見 (獨逸鐵鋼界小觀其の5)

獨逸を中心とする大陸諸工場中の特に重要と思はれる點は逐次報告したが故に、今迄に記載漏れとなつてゐた點で、特に目につく若干を一括して了はう。

第一に、機械設備等に就いては、餘り目新しいものが見受けられない。小型線材工場の一部、タイププレート製造工場位が日本で見られぬ丈けで、その他には、見たことがないと思はれるやうなものは殆ど見附からなかつた。むしろ舊式のものゝ多いのに驚く位のところである。

第二に、しかも、その機械を動かす人間の數の少いのに驚く。ローズキー氏の居る工場に就て既

に報告した通りであるが、大陸各地殆どこの類である。

第三に、かるが故に、かゝる舊式の機械と少い人間の數とによつて擧げつゝある成績を數字の上で見るときには、嘘ではないかと思はれる程である。彼等の合理化運動の如何に進捗したか。さればとて、16圓の運賃と18圓の關稅を超えても吾等の敵となるのでないか。母國に於ける合理化運動もこれからではあるまいか。

第四には、分塊工場や、小型工場の活潑なる作業である。或る工場の分塊ロールでは一時に2本をくはへ、3本目が待つてゐる。線材工場、細丸工場とか中形丸鋼工場とか同一のコンテナヤスから出て来る材料を交互に分配して、少しもよどみがない。所謂引き損ひや不良線材などは殆ど見られない。

第五に、大型工場では壓延以後の整正や製品の荷捌きに特に力をそゝぎ殊更廣い場所をとつてゐるのが美しい。100萬噸以上の工場となつては掌大の洞海灣丈けを利用しようと言ふのが間違じやなからうか。

第六に、重軌條でも輕軌條でも切口は特別の機械を以て奇麗にきりとつて居た。

これはほんの素人觀察である。誤見があるかもしれんことを豫め斷つて置かねばならぬ。

#### 六、大陸鐵價の將來如何

1. 大陸鐵價は大保合圏内の小浮動状態を持續して年餘に及んで居る。吾等のこゝに問題とせんとするのは、將來何等かの動機を切掛けに斯かる保合圏より逸脱して下放ることなきかと言ふ點である。總じて物價の將來を豫言する。甚だしき冒險はない。個人に與へられたる眼界は極めて狭少であるのみならず神のみが知る未發の事象にして將來に勃發することあるべき幾多の原因を如何にすべき。さればこゝに試みむとする若干の豫測に就ても、其の立脚せむとする論點を著しく局限し斯く局限せられたる原因以外の材料に據る變動に就ては其の責に任ぜざるの點を明かにして置かねばならぬ。

大陸に於ける合理化運動は其の全般に亘つて漸く一段落となり、生産原價も底を入れたと見られる。而して彼等は引合ふことは引合つて居るが其の程度は資本に對する申し譯け許りの配當を爲し得るが關の山だと觀測せられる。斯かる状態に誤りなしとするに於て、何人も好むことなき賣價の引下を斷行せむが爲には、其の斷行を餘儀なからしむる何等かの原因が無ければならぬ。此の點に着眼して、近き將來に彼等に彼等を驅つて賣價の引下を餘儀なからしむる事情として想見し得べきものを列擧すれば、第一には彼等が現に構成しつゝあるシンジケート、コンバイン、又は國際協定の破綻に依る國內各工場間又は國際間の競争の惹起である。第二には増産又は需要の減退による需給調和の破綻である。而して第三には海外商權範圍に關する國際間の争奪戰である。

2. 彼等が現に構成しつゝある各種のシンジケート、コンバイン、又は國際協定に破綻を來すことなきやの點に就ては目下の處斯かる憂の全くこれなきのみならず、寧ろ、將來に向つて益々其の基礎を固め、其の結合は一層合理化せられ且強化せらるべしと觀測せられて居る。若し夫れ、戰爭の勃發又は之に準すべき政治的國際紛議等の如き原因より來る場合は別として、然らざる限り純然たる經濟

事情のみを原因としては之を消極に觀測すべき何等の材料がない。各國並に各工場の共同の利益に向つて爲さるゝ此の種の團結は今日迄既に異常の成功を収め又將來に向つて益々其の良好なる成績を期待せられて居る際に於て、たとへ目前枝葉の問題に關する若干の紛議の避くべからざるものありとするも其の根本的組織を覆さんとするものは無いと見ねばならぬ。彼等今日の團結は忍ぶべからざるを忍んだ苦がき經驗の結晶である。分立せる企業がそこに必然的なる無用の競争を惹起して百害あつて一利なきものたることを體驗した彼等が、好んで再び亂脈の渦中に飛ぶ込まうとは考へられない。

次に増産又は需要の減退に依り需給の破綻を來すことなきやの點であるが、(イ)大陸諸工場の合理化運動も一段落であつて其の能率向進も現状以上に進め得べき餘地に乏しく、従つて相當莫大なる資金を以てする設備機械の新設又は根本的改造を爲さざる限り、これ以上目覺しき大增産を爲し得べき餘裕ありとは考えられぬのみならず。(ロ)需要方面に就ては、國の内外を通じ季節的に又は一時的に若干の浮動あるべきは勿論であるが全體を通じて之が減退を見るべしと想見せらるゝ材料が無い。假りに若干の増産があり、需要の變動がありとしても之か調節の爲めに施設せられた前述の諸機關の機能は、巧に之を鹽梅して、一時的浮動の爲めに永久の大利を失ふが如き愚を學ぶことは無いであらう。

3. 以上の如き一般的事情は大體として、大陸鐵價の底入を教ふるものでなくてはならぬ。彼等をして賣價の引下を餘儀なからしむる一般的材料として吾等の目前に想見し得るものは全く無いからである。然しながら一般的事情と特殊の事情とは自ら別問題である。或る時、或る品種に付き而して或る仕向先のものに就いて値下げの必要が生じて來るべきことは豫め覺悟して置かねばならぬ。例へば英米間の秘密協定に依つて久しく壟斷して居つた電機鐵板の世界市場に對し獨逸が食ひ込まむが爲めに最近獨逸が犠牲的に値段を下げて來たと言ふが如き場合は勿論の事普通一般の場合に於ても輸出向は國內向よりも割安たることを常態として居り、輸出向の中に於ても其の仕向先に依つて其の値段に甲乙が附せられることは決して稀しいことではない。従つて吾等の最も適切に知らむと欲する日本市場向輸出値段の將來如何と言ふ問題に對する解答としては前述せる一般的觀測を其の儘に引用することを許されないのである。

繰返して言ふ。大陸鐵價は大體に於て落著いて來たから、近き將來に於て大した値下りはあるまいと言ふことは決して、日本向鐵材の凡てを通じ、如何なる場合にも値下げはあるまいと言ふことにはならぬのである。此の點に就ては、各品種別に點檢して(イ)彼等が日本市場に對して有する商權範圍としての重要性如何。(ロ)及、内地向の利益の幾分を吐き出して迄戰つた上で果して勝ち得るや否やに關する彼等の見込に依つて決定せらるべき問題である。即、予が曩に第三の原因として掲記した海外商權の爭奪戰に對する彼等の態度に依つて決定せらるゝものと見ねばならぬ。

4. 日本市場に對して相當の重要性を有つ品種にして、戦へば必ず捷つと見込の付いたものを目標として日本市場を舞臺として爭奪戰が展開さるべきものと豫想して宜いであらう。重要性のなきものに死付いて、力を盡すの必要なく、又勝算なき戰爭に身錢を切るの愚を學ぶものは無い。然らば如何

なる品種に付いて相當の重要性を感じつゝありやの點であるが、此の問題に就ては、棒型鋼に付いては比較的薄く軌條、線材、管筒、黑板等に厚いと言ふ位の漠然たる觀察の外深く探求するの必要は認められない。何となれば、これらの品種と雖も彼等をして無用の爭奪戦開始を斷念せしむる丈けの態度と決心とを吾等の側に於て準備すれば足るが故である。日本の製造工場が大陸工場に壟斷されつゝあつた母國の市場を奪還し、これを死守して動かざるの決心と態度とを示すに於ては彼等と雖も見込なき戦に無用の浪費を爲さぬであらう。彼等と雖も贅澤や酔狂の可能なるほど餘裕があるのではない。苦しいことは相當に苦しいと見ねばならぬ。しかもなほ且投賣的死力を盡して戦はむとする爲めには、必捷を期し得る見込が立つた上でなければならぬ。果して然らば彼等をして値下げを決心せしむるか否かは一に懸つて吾等の決心如何に存すると言はねばならぬ。

要之、日本向値段の上るか下るかは一に全く日本内地製造工場の決心と態度一つで決まるであらう。就中、國內に於て、自給自足の可能なるものについて特に然りである。若し夫れ、内地工場の勢力弱く、其の半數近くも國外より仰がざるを得ざるものに就ては何をか言はむやである。煮て食はうと焼いて食はうと彼等の自由では無からうか。(5月16日伯林にて)

#### 七、歐洲の半製品市場

(半製品作業と製品作業の分化獨立)(半製品値段と製品値段との關係)

1. こゝに半製品と名付けたのは、インゴツト、ブルーム、ピレット及シートバーの一括總稱であるが、次に掲ぐる數字中の大部分はシートバーで、ブルーム、ピレット之に次ぎ、インゴツトは無いものと見て宜い位のものである。1928年各國輸出入高を示せば下の通りとなる。

國別	英國	白國 ルクセンブルグ	獨國	佛國
輸入	1,231,000 噸	203,000	約 400,000	殆どなし
輸出	殆どなし	571,000	461,000	2,403,000

以上の數字は、歐洲の半製品市場なるものは大陸より英國に向つてする供給を基調として存立するものたることを示す。其の大部分はシートバーであつて英國鐵鋼界の中心たる薄板及其の亞鉛引板並に鋳力板の原料不足を大陸よりの供給に俟つと言ふのである。最近に至つて英國は棒型鋼の材料たるブルーム、ピレットをも大陸から仰がむとする傾向が著しく目立つて來た。勞銀の高い英國では之等の材料を自ら製出するよりは多少高くとも他から仰いだ方が割安につくと言ふ計算であるらしい。

以上の數字の中には各國內に於ける各工場間の有無相通量を含んで居らぬ。製鋼分塊工場を有たぬ工場、有つて居ても寧ろ外部から仰いだ方が割安だと見込まれる工場は、大陸内に相當あるらしいから、之等相互間の有無相通量も相當あるらしく、國の内外を通じて融通經濟の領域内に入つて來る半製品の量なるものは決して輕視すべからざるものがある。

2. 斯くの如き歐洲の半製品市場から、吾等母國の鐵鋼業の參考となる何物が發見されるであらうか。第一に目新しく目に立つのは歐洲鐵鋼業の銑鋼一貫作業に對する反逆である。用語の便宜上、



製鉄製鋼及分塊の一聯の作業を半製品作業と呼び、壓延加工に關する作業を製品作業と名付くるならば、半製品作業と製品作業との分化獨立と言ふことが、最近に於ける歐洲鐵鋼界の目新らしき傾向と言ふことが出來やうか。製鉄から壓延までの一貫作業と言ふことは漸次に軌條、大型類に局限せられむとし、従來の縱斷主義を新なる横斷主義に組み替へむとすることが、彼等に殘されたる合理化運動の唯一の方法だと考えられて來た。見よ、英國に於ては壓延加工の原料たるシートバー及ピレット類を自ら製作することを必要の最小限度に止めて、其のなるべく多量を大陸の工場に仰がむとして居る。又大陸に於ける群小工場は勿論のこと同一經營者の下に在る各個の工場間に於ても製鉄、製鋼、分塊のみを専門とする工場と壓延加工のみを専門とする工場とが、年と共に分化し來らむとする傾向がある。彼等の考へ方を其の實際から歸納して見ると、製鉄から壓延までの一貫作業なるものは、一工場少くとも50萬噸位以上を單位とした場合でなければ經濟的にも意味を爲さぬ。假りに10萬噸位の製品工場に向つて其の壓延材料を得る方法として、製鉄より始めよと要求することは甚だしい不經濟を強ゆるものだと考えられて居る。限られたる資金を製鉄、製鋼、分塊、壓延とに分立せしめ、各工場共不足勝なる作業を爲し、貴重なる資金を個々に死藏せしむることの不經濟は、熱塊の冷却に依つて失ふ熱の不經濟よりも甚だしいと計算されて居る。彼等は各個の水雷艇に水も積み、石炭も積み、食糧も積み、彈藥も用意せよと言ふ代りに、1個の強大なる水雷母艦を建造した。彼等の將來に殘された合理化運動の唯一の方法は各個の水雷艇と母艦との任務の分擔だと心得て居る。母艦に於ては製鉄より分塊までの作業を大規模に行つて最も安く最も速く、炭、水、糧、彈を準備する。而して各個の水雷艇たる壓延工場は、身輕になつて思ふが儘に敵陣を駆けめぐるのである。國際的に言へば大陸の大工場は母艦であつて英國の工場は水雷艇である。國內的に言へば、中央の大工場は母艦であつて各地の群小工場は水雷艇である。それにもまして注目すべきは各個のコンサーン内部に於ける任務分擔の著しき傾向であつて、半製品作業の設備はなるべく數を少くして之を中心に集約し之に屬する各地の製品工場に分配配給しやうと言ふのである。

3. 第二に注目に値するのは、半製品市價と製品市價との關係である。上述の如く歐洲全體を通じて半製品作業と製品作業との作業的分化作用が行はれ來ると共に此の兩者間の經濟的關係は益々密接の度を加へ來つた。其の結果は歐洲の半製品市場なるものは益々底硬いものとなつて行く傾向がある。斯かる合理化運動の進捗に伴つて半製品としての有無相通市場は漸次に重要性を加へ來るであらう。最近半製品市價と製品市價との鞘寄が切りに行はれ來つたが、此の鞘寄は主として半製品の側から高騰し來つて製品市價に近づきつゝあるのである。試みに5月上旬に於けるブラツセル取引所の出來値を示せば下の通りである。

(イ) ピレット	4 吋物	5 — 6 — 0	(ロ) シートバー	薄物用	5 — 9 — 0
バ		6 — 0 — 0	薄板	薄物	10 — 7 — 0

之等の數字から吾等の教えられる若干の點を列擧して見るならば、第一に歐洲の製品工場なるものは

如何に合理化され能率が上げられて居るかと言ふ點である。1志を 50 錢として計算すれば、原料たるピレット、製品たるバーの間に 7 圓位しか値開きが無いのである。歐洲鐵鋼界の水雷艇は其の母艦に仰ぐ彈丸を最も有効に使用し、斯くの如き優秀なる命中率を保持して居るのである。第二には斯くの如く原料と製品との値開きの少いと言ふことは原料の値下の無い限り製品の値下を爲す餘地も亦殆ど無いと言ふことである。而して第三には然らば原料の値下なるものが近き將來に豫想されるかと言ふことであるが、この點に付いては前述の如く半製品作業と製品作業との分化に依る合理化運動の一段落となる迄は、半製品の需要が増加する一方と見るべきであるが故に、此の點のみに着眼すれば半製品の値下りは豫想されぬと言はねばならぬ。かるが故に第四に半製品市場を通じて見たる歐洲鐵價の將來は大體に於て樂觀して可なりと言ふことが出来ると思ふ。若し夫れ、目前の一高一低や局限したる論點以外の原因に依る變動に就ては本稿の負擔すべき責任ではない。(5 月 22 日 伯林にて)

#### 八、歐洲鐵鋼業合理化運動の成果

歐洲鐵鋼業界に行はれた合理化運動の總平均點を窺ひ知る爲めに最近 5 箇年間に於ける各國の生産高を一覽して見る。

鉄鐵生産高 (×印は英國ゼネラルストライキ) (單位萬噸)

年次	英國	獨國	ツアール	佛國	白國	ルクセンブルグ	其他
1924	731	768	137	757	280	212	376
1925	626	1,001	143	836	250	233	487
1926	×246	950	161	928	335	252	572
1927	729	1,290	174	918	369	269	711
1928	661	1,155	188	990	380	270	778

鋼鐵生産高 (單位萬噸)

年次	英國	獨國	ツアール	佛國	白國	ルクセンブルグ	其他
1924	820	968	145	679	283	186	528
1925	739	1,200	155	733	251	205	758
1926	×360	1,215	171	830	332	221	870
1927	910	1,606	186	818	366	243	1,008
1928	853	1,410	200	910	380	252	1,148

以上の成績表から吾等の學ぶべきことは、第一に英國に限つて殆ど全く進歩の跡が見えないのみならず、若しかすると退歩するに非ずやと思はるゝ位であるのに反し、第二に大陸諸國の増加率の甚だ急激であつて其の進歩の跡の如何に目覺しきものであるかの點である。而して第三には大陸諸國に於ても前半の増加率と後半の増加率の比較から見て彼等の合理化運動も最早や時が見えて來たと看取せられると言ふことである。更に目下進行しつつある今年即 1929 年の成果を見た上で、本表に附加して見るならば相當興味あるものが出來上るで無からうか。

更に各國の勢力比較の變遷を見る爲めに前掲第二表を基礎とし其の各國合計を 109 とした場合の各國の持分の 5 年前と 5 年後とを比較して見ると次の通りである。

鋼鐵生産高百分比各國持分比較

	英 國	獨 國	佛 國	ベルギー、ルクセンブルグ、ツアール	計
1924 年の持分	27%	31	22	20	100
1928 年の持分	21	35	23	21	100
増 減	(-) 6	(+) 4	(+) 1	(+) 1	0

此の表は大戦に依つて荒廢に歸した大陸工場が、其の復活の努力を合理化運動に集中して、英國の堅城に迫り、而して今や大陸は見事に世界市場を征服し、英國をして城下の盟を爲さしめんとしつつある現状の縮圖である。英國鐵鋼界は之に對して如何なる態度に出ずるであらうか。將來に於ける工業戦の低氣壓は將にこゝに集積しつつあるのではあるまいか。(5月22日 伯林にて)

佛國 1928 年鐵生産及輸出入表

熔 鑪 爐 狀 況

(基 數)	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
活動中のもの	144	149	149	150	150	148	148	150	149	154	152	153
活動準備なれるもの	33	28	29	28	22	23	24	23	20	32	23	21
建設中又は修繕中のもの	43	41	42	42	47	48	48	48	52	31	46	47

銑 鐵 生 産 (單位 1,000 噸)

生 産 總 額	809	784	857	834	868	843	836	857	822	857	850	880
鑄物用銑鐵	102	99	113	116	112	103	104	115	104	97	98	108
トーマス用鑄鐵	637	615	661	641	674	666	659	670	635	680	658	692

鋼 鐵 生 産 (單位 1,000 噸)

生 産 總 額	753	738	806	738	794	797	751	793	757	834	800	828
トーマス爐	530	519	574	517	554	557	532	559	526	576	558	576
マルチン爐	206	203	217	206	224	225	204	220	217	242	225	234

輸 出 入 表 (單位噸)

	輸 入			輸 出		
	鐵	鑛	銑 鐵	鐵	鑛	銑 鐵
1 月	31,468		2,471	1,315,339		57,496
2 月	109,658		5,245	1,411,095		49,515
3 月	188,967		4,422	1,465,246		57,534
4 月	97,524		2,864	1,541,181		46,499
5 月	179,040		4,506	1,397,484		48,725
6 月	101,845		2,423	1,550,231		39,875
7 月	67,608		2,857	1,388,539		51,796
8 月	56,450		2,236	1,516,019		55,339
9 月	138,119		3,420	1,650,616		60,424
10 月	79,687		3,797	1,307,165		42,912
11 月	99,011		2,170	1,241,295		71,509
12 月	54,231		3,960	1,303,078		14,933
						3,328,269
						415,206
						377,291
						319,753
						319,028
						323,028
						259,766
						369,534
						346,786
						338,020
						343,404
						332,213

(昭和 4 年 3 月 11 日附在佛河合代理大使報告 海外經濟事情第 2 年第 8 號 統計)

昭和4年4月中製鐵所銑鋼生産高表 (八幡)

	銑 鐵			鋼 塊			鋼 材		
	當月生産	前月比較	1月以降累計	當月生産	前月比較	1月以降累計	當月生産	前月比較	1月以降累計
4月	69,734	+ 285	275,163	112,028	- 5,057	443,110	89,342	- 6,635	354,956
5月	62,717	- 1,015	343,880	116,510	+ 4,482	559,620	92,047	+ 2,705	447,003

主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産高調 (單位噸) 商工省鑛山局

種 別	3 月 分			1 月 以 降 累 計		
	昭和4年	昭和3年	比較増減	昭和4年	昭和3年	比較増減
銑 鐵	128,588	129,016	△ 428	388,492	365,190	23,302 6%
普 通 鋼	195,585	159,277	36,308 23%	545,762	441,868	103,894 24%
販賣向壓延鋼片	8,482	3,009	5,473 182%	25,290	11,482	13,808 13%
販賣向シートバー	741	538	203 38%	1,590	1,166	424 36%
普通鋼壓延鋼材	167,381	138,671	28,710 21%	458,375	391,084	67,291 17%
内 譯						
鋼板 { 厚0.7耗以下	16,695	9,776	6,919 71%	42,585	24,848	17,737 71%
其 他	28,983	29,078	△ 95	77,602	83,691	△ 6,089 △ 7%
棒 鋼	61,456	49,692	11,764 24%	165,133	128,792	36,341 28%
形 鋼	8,210	20,600	△ 2,390 △ 12%	58,442	57,336	1,106 2%
軌 條	8,251	16,282	11,969 74%	74,616	57,885	16,731 29%
ワイヤロッド	5,479	4,427	1,052 24%	15,609	14,307	1,302 9%
鋼 管	5,883	6,079	△ 196 △ 3%	15,885	15,520	365 2%
其 他	2,424	2,737	△ 313 △ 11%	8,503	8,705	△ 202 △ 2%

△ 印は減

昭和4年3月中外國銑輸入高 (銑鐵共同組合)

輸 出 國	輸 入 港					計	1月以降累計
	横濱	神戸	大阪	門司	其他		
支 那	—	1,482	—	—	—	1,482	2,122
印 度	8,154	- 9,373	19,625	3,862	517	41,531	112,083
英 國	358	205	—	—	—	563	2,406
獨 逸	—	—	—	—	—	—	513
米 國	—	2,218	—	—	—	2,218	16,937
瑞 典	—	—	—	—	—	—	821
計	8,512	13,278	19,625	3,862	517	45,794	134,882

備考 大藏省主税局調査の數字は單位擔なるを以て1擔0.06048 噸の割合にて換算したり

昭和4年4月中外國銑輸入高 (銑鐵共同組合)

輸 出 國	輸 入 港					計	1月以降累計
	横濱	神戸	大阪	門司	其他		
支那	—	—	—	—	—	—	2,122
印度	15,614	8,909	15,366	1,701	—	41,590	153,673
英國	205	389	—	—	—	594	3,000
獨逸	—	3,128	—	—	—	3,128	3,641
米國	—	—	—	—	—	—	16,937
瑞典	—	—	—	—	—	—	821
計	15,819	12,426	15,366	1,701	—	45,312	180,194

備考 大藏省主税局調査の數字は單位擔なるを以て1擔0.06048 噸の割合にて換算したり

誤正 鐵と鋼第15年第5號430頁「昭和4年4月中外國銑輸入高」とあるは「2月」の誤り

銑鐵市場在庫月報 昭和4年3月31日現在 三菱商事株式會社金屬部

市 場	持 主 別			合 計	前月比較
	生産筋	問屋筋	消費筋		
東 横 名 古	6,430	1,960	14,695	28,585	- 6,757
	5,500		—		
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	1,764	2,330	1,810	5,904	- 1,587
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	7,621	18,400	17,660	83,711	+ 7,196
			50		
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	1,854	1,804	5,410	9,318	- 1,516
			—		
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	6,269	—	—	6,269	+ 778
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	1,369	—	—	1,369	+ 593
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	32,707	—	—	32,707	+ 7,257
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	26,400	2,120	440	28,960	- 9,580
大 神 門 長 室 釜 兼 二 大 其	1,114	—	—	1,114	+ 839
合 計	91,028	26,664	80,245	197,937	- 2,777
前 月 比 較	- 1,044	- 2,491	+ 754	- 2,777	—
備 考					
前 年 度 同 月	87,285	26,287	59,592	173,164	—

銑鐵市場在庫品種別月報 昭和4年3月31日現在 三菱商事株式會社金屬部

品 種	京 濱	名 古 屋	阪 神	九 州	滿 鮮	北 海 道	其 他	合 計	前月比較
兼 二 浦	6,415	840	8,050	2,948	32,969	—	—	51,222	+ 1,079
釜 石	225	—	750	—	—	—	1,369	2,344	+ 568
輪 西	4,645	2,060	3,750	110	—	6,269	—	16,834	+ 2,408
鞍 山	3,630	750	10,820	1,355	26,803	—	495	43,853	- 911
木 溪 湖	1,290	514	5,561	850	1,722	—	437	10,374	- 2,476
淺 野 銑	5,830	—	—	—	—	—	—	5,830	- 890

大 暮	—	—	—	95	—	—	—	95	+ 95
Tata	820	—	9,900	300	—	—	—	11,020	+ 1,995
Burn	4,830	300	25,020	2,950	155	—	—	33,255	+ 5,320
Bengal	760	1,040	8,000	100	—	—	—	9,900	- 6,525
Cleveland	50	—	50	—	—	—	—	100	+ 10
Hematite	70	—	1,030	—	—	—	—	1,100	- 150
Swedish	—	—	—	100	—	—	—	100	- 110
Luxembourg	—	—	—	—	—	—	—	—	- 200
Mysore	—	—	—	400	—	—	—	400	+ 400
	20	—	9,400	—	—	—	—	9,420	- 3,560
	—	—	60	50	—	—	—	110	+ 30
雜	—	400	1,320	60	200	—	—	1,980	+ 140
合 計	28,585	5,904	83,711	9,318	61,849	6,269	2,301	197,937	- 2,777
前月比較	-6,757	-1,587	+7,196	-1,516	-2,141	+778	+1,250	-2,777	—

### 佛國 鐵の製産輸出狀況 (昭和4年2月26日附在佛國帝國特命全權大使安達峰一郎報告)

1928年度の佛國鐵の製産並輸出狀況に關し、本年2月24日の當地經濟紙アンフォルマシオンは下の記事を掲げたり。

1928年の佛國鐵及鋼の製産額は1927年に比し頗る増加し鐵1,000萬噸餘、?鋼100萬噸?に達せり。反之同年度の輸出額は鐵及鋼400萬噸餘、鑄鐵80萬噸餘にして、1927年に比し約50萬噸の減少を來せり。

以上輸出額の減少は佛國國內の鐵及鋼の消費増加に基因するものにして、同年の鐵及鋼の消費量(680萬噸)は過去數年間の平均消費量を超過する事約130萬噸なりと云ふ。(海外經濟事情第2年12號)

### 獨逸對日貿易狀況の内 1928年對日重要輸出品

1928年に於ける日本向輸出は食料及飲料品50萬麻克、原料及半製品4,800萬麻克、既製品1億6,440萬麻克であつて前年に比し食料及飲料品は殆ど變りが無いが、原料及半製品は2,270萬麻克、既製品は1,160萬麻克丈増加して居る。既製品は獨逸の對日輸出の大部分を占めて居る。

(1) 原料及半製品の輸出増加は主として硫安輸出の激増に基因して居る、即ち硫安の對日輸出額は1927年の1,927萬麻克から約倍加して居る。日本に於ける硫安製造業は今後益々發展すべき情勢に在るので獨逸硫安輸出が何時迄も此状態を持続し得るやは頗る疑問とせざるを得ない。

其他注意すべきは鐵半製品及塊鐵の輸出が前年の136萬麻克から286萬麻克に、コールタールか60から84萬麻克にホツプか17萬麻克から55萬麻克に増加し、之に反しアルミニウムが165萬麻

克から 79 萬麻に減少したことである。

(2) 既製品の部に於ける主要なる輸出品は (イ)鐵製品(4,795萬麻克) (ロ)化學及藥學製品(3,933萬麻克) (ハ)機械類(1,780萬麻克) (ニ)毛絲(1,559萬麻克) (ホ)電氣工學製品(938萬麻克) (ヘ)毛織物(602萬麻克) (ト)時計樂器其他精工品(466萬麻克) (チ)紙及同製品(408萬麻克) (リ)硝子及同製品(377萬麻克) (ヌ)書籍及樂譜(280萬麻克) (ル)フィルム(151萬麻克)等である。

(イ) 1928 年鐵製品輸出は前年より 925萬麻克丈増加して居る。鐵製品中では鐵板及鐵線の増加額は約 450萬麻克に達して居る。其他汽罐及機械部分品は約 80 萬麻、鐵道材料は 77 萬麻克を増加して居り尙棒鐵及型鐵、鐵管等も多少増加して居る。(以下省略)

**南アフリカに於ける滿俺鑛開發狀況** (昭4年4月25日附在ケープタウン帝國領事館事務代理關千秋報告) 3月下旬閉會した南阿聯邦議會では、政府の提出したコープマンسفオンテン、ポストマスバーグ間鐵道敷設法案を可決した。コープマンسفオンテンは金剛石産地として有名なキムバレーの西方 60 哩の所に在る鐵道終點驛で、ポストマスバーグは此コープマンسفオンテンの西方約 65 哩に在る小さな町である。其附近には Manganese Diamond Mine や West End Mine などと稱する金剛石坑がある外、數年前非常に豊富な滿俺鑛脈が発見せられた。此鑛脈は延長 40 哩に及ぶ廣大なものでポストマスバーグ町の西方 5 哩の地點から北走するガマガラ・リツヂと稱する丘陵脈と其東方に幅 5 哩程の平坦な岩石地帯を隔て、斷續起伏する、クリツプフオンテンリツヂと稱する丘陵脈の裡に埋藏せられて居る。此大鑛脈の發見以來、之を開發する爲幾多の會社が設立せられた。そして是等の諸會社は開發の必要上夫々鐵道當局に對し鐵道布設方を請願した。鐵道當局では是等の會社と寄々交渉中であつたが、遂に The British Swiss International Corporation Limited. と大約次の如き契約を締結することに決定し、鐵道大臣マランは本年 2 月 23 日ケープタウンに於て、會社代表者と共に契約書に調印した。契約の要點は(一)鐵道港灣省はコープマンسفオンテン、ポストマスバーグ間に鐵道を建設設備し、維持經營す。(二)會社は該鐵道の建設々備に要する費用を提供し其支拂を爲す。(三)建設々備は假に 302,000 磅と推定す。若し實際費用が此額を超過したる時は、會社は其超過額を鐵道港灣省に仕拂ふ。但し右推定額の 1 割以上の超過に對しては仕拂の義務なし。(四)工事完成後鐵道港灣省は、會社が該鐵道建設々備費として仕拂ひたる金額を査定し、其金額と會社が鐵道建設々備費として、鐵道當局の爲に支拂ひたる旨を認めたる證書を交付す。而して會社は鐵道の業務開始後 10 箇年の後に於て該金額の返濟を受くるものとす。(五)該鐵道と鐵道港灣省に於て經營し缺損を見たる年は會社に於て其損失額を支拂ふ。(六)會社は該鐵道業務開始後、最初の 1 箇年はポストマスバーグより 20 萬噸を下らざる滿俺鑛、若はコンセントレート、其後 10 箇年間(即ち契約繼續期間)は各年 35 萬噸を下らざる鑛石を輸送することを保障す。若し此噸數に達せざる場合には會社は不足の分に對し 1 噸に付 2 志の割合にて鐵道港灣省に支拂ふ。但し其金額は該鐵道の收入金に繰入るゝものとす。(七)鐵道港灣省は會社に對し該鐵道業務開始の日より 10 箇年間はコープマンسف

オンテンと、聯邦諸港間の省線に於て海外輸出の滿俺鑛に對し、現に適用せられつゝある公定運賃を引上ざることを約す。(八)該鐵道業務開始後、該鐵道に依りて海外輸出の爲聯邦港に輸送せらるゝ滿俺鑛の船積手数料、(Shipping Charge) は、貨車より本船若は舢に積換する場合、又は積込前にストアしたる場合或は其他の場合等を問はず、一様に 2,000 封度に付 1 志 6 片とす。(舢を使用する港に於ては外に舢賃を徴す) 但し鐵道港灣省に於て鑛石積込の特別設備を爲したる時は、該設備費の 1 割に相當する利益を收得し得る額迄其手数料を減額すべく、又會社自身に於て以上の如き設備をしたる場合には、會社は自己の費用に於て滿俺鑛の船積を爲すべく、此場合には鐵道港灣省は前記手数料を徴收せず。(九)聯邦港に於て輸出滿俺鑛の船積を船積迄屋外にストアする場合 1 萬噸迄は無料とす。(十)前項の 2,000 封度に付 1 志 6 片の特別船積手数料及前項の無料ストアレヂ竝從價 100 磅に付 5 志といふ現行の埠頭税は、該鐵道業務開始の日より 10 箇年以内に於て引上らるゝことなし。(十一)會社は聯邦港に於て鐵道省より土地を租借し、滿俺鑛の積卸及ストアに必要な設備を爲すことを得。(一二)該鐵道業務開始後 10 箇年の間會社は、其鑛石又は生産物及貨物を鐵道以外の交通機關に托することを得ず。(一三)會社はコレンソ(ナタール鐵道備設に在る都市)若は其他ターバン港とナタール石炭産出地との間に於て、ナタール鐵道に沿える適當なる地點を擇び、電氣供給委員會(The Electricity Supply Commission)と妥當なる取極を爲したる上、必要な動力及水の供給を受けて、毎年 5 萬噸の滿俺鑛を處理し、之とフェロマンガニーズに轉化し得る設備を爲すこと、且其の設備は聯邦内に産する適當なる鑛石を利用して、フェロクロム、フェロヴァナヂウム及フェロ・タングステンの如きフェロアロイを生産し得る様設計することを約す。(一四)前項設備の建設は該鐵道業務開始の日より 5 箇年以内に完成せらるべく、且其日より 10 箇年以内に毎年 10 萬噸の鑛石を處理し得る迄に張擴せらるゝことを要す。但し 1928 年法律第 11 號製鐵鋼業法(The Iron and Steel Industry Act No. 11 of 1928.)に依り設立せられたる、The South African Iron and Steel Industrial Corporation Limited)に於て作業を開始せざる限り會社は其擴張の責なし。(一五)會社は鐵道港灣省の同意を得て、該鐵道建設法案議會通過後 6 箇月以内に南阿聯邦に於て登録せらるべき一會社(此會社は資本金 80 萬磅以上にして、ポストマスバーク附近の滿俺鑛開發と其輸出を目的とす)に此契約を引繼ぐ事を得。The British Swiss International Corporation Ltd. は倫敦に本店を有する英國の會社で以上契約に依つてポストマスバーク附近に於ける滿俺鑛の開發權を獲得した許りでなく滿俺鑛の輸出品にも種々の便宜と特權を享有す。而して其鐵道の建設は約 15 箇月で完成する見込であり、且議會通過次第工事に着手する豫定であるから、今より 2 年の後には南阿聯邦から毎年 2—30 萬噸の滿俺鑛が海外に輸出せらるべく、更に 5 年の後にはナタール州コレンソ其他に建設せらるゝ滿俺工場から數萬噸に上る各種のフェロ・アロイが輸出せらるゝことになる譯である。(海外經濟事情第 2 年 13 號)

**ベルギーの鐵生産狀況** (1928 年) (昭和 4 年 4 月 6 日附在ベルギー帝國特命全權大使永井松三報告) 概況 1928 年の白國製鐵鑛業は空前の盛況を呈し、銑鐵産額は 390 萬 5,320 噸にして、前年



に超過すること 15 萬 3,880 噸、1913 年に超過すること 142 萬 630 噸なり。鋼鐵產額は 382 萬 910 噸にして、前年に超過すること 21 萬 3,540 噸、1913 年を超過すること 141 萬 6,130 噸なり。又鋼材產額は 337 萬 3,380 噸にして、前年に超過すること 31 萬 1,160 噸、1913 年を超過すること 151 萬 5,520 噸なり。而して鐵材產額は 17 萬 3,340 噸にして 1913 年に比し 13 萬 1,010 噸の減少即ち約半減なりと雖、之亦前年を超過すること 6,720 噸なり。而して白國は今や世界の銑鐵產額の約 4.5%、鋼鐵產額の約 4% を占むるに至れり。

製煉所の改善 製鐵產額の増大は主として製煉熔鑛爐の改善に基くものと觀察され、1914 年乃至 1918 年事件は白國の製鐵鑛業をして全然自滅的に化し去り、其製產額を殆ど皆無の状態に陥れたるが、其後白國側の不斷の努力に依り之を復舊せるのみならず、更に大量製產力を有する工場の建設を以てし、最近代的設備を加へたるが爲、戦前と同數の熔鑛爐を以てして其產額は 50% 以上に増加を示せり。銑鐵の產額を見るに 1913 年には 54 箇の熔鑛爐よりの一晝夜平均製產額 6,600 噸なりしもの、1928 年には熔鑛爐數僅に 2 箇の増加を來せる 56 箇よりの平均產出 1 萬 700 噸に達せる盛況なり。目下建設中の新式熔鑛爐完成の曉には其產額増大するに至るべし。

従業員失業の減少 1913 年の製鐵鑛業職工は約 3 萬 5,000 人なりしが、1928 年は 4 萬 1,000 人にして產額の倍加せるにも拘らず其人員増加は僅に 6,000 人に過ぎず、而してブラツセル大學リーネ教授の調査によれば、1928 年 9 月白國失業者中の僅に 1.5% が製鐵鑛業關係者にして、之を前年同期の 4.4% に比すれば製鐵鑛業職工失業者の著減したることを見るべし。

戦後の產額 戦後最近 3 箇年の鐵類產額を戦前 1913 年に比較すれば下の如し。

(1913 年生産を(100%とし單位噸)

別種	年次	1913 年		1926 年		1927 年		1928 年	
		產額	%	產額	%	產額	%	產額	%
銑	鐵	2,484,690	100	3,368,347	135.5	3,751,440	151.0	3,905,320	157.0
鋼	鐵	2,404,780	100	3,263,495	135.7	3,607,370	150.0	3,820,910	159.0
鋼	塊	1,857,860	100	2,781,690	149.7	3,062,220	164.8	3,373,380	187.0
鐵	材	304,350	100	158,850	52.1	166,620	54.7	173,340	56.9

世界產鐵と歐洲カルテル 1928 年鋼鐵產額に關する歐洲カルテルの割當は獨逸 1,450 萬噸、佛國 940 萬噸、白國 318 萬噸、ルクセンブルグ 250 萬噸にして、白國の產額は其割當額を超過し、白國は銑鐵に於て世界產額の約 4.5%、鋼鐵に於て約 4% を占め、歐洲第 4 位の產鐵國となり、英國の產額の約 60%、佛國及獨逸產額の約 40% を產出するに至れり。

輸出狀況 1928 年 1 月中の產額は鋼鐵カルテルの割當を超過したるが、既に接到済なる注文に新に伯刺西爾、亞爾然丁、暹羅及土耳其より軌條其他の鐵道用品の注文殺到し、2 月中獨逸鐵鑛業ロツクアウトと、佛國鐵鑛業一部操業中止とに活氣付られ商況健實に進み、3 月に入り獨逸との競争復活し、7 月にはアンヴェルス港埠頭人夫の罷業及内國市價の小騰貴により輸出商況は少しく妨げられた

るも支那、印度向の輸出を見、8月は日本、支那及印度よりの注文により殊更活氣を呈し、晩秋に入りて萊茵地方鐵鑛業のロックアウトにより更に一層の活氣を添へられ年を終れり。

鐵價 昨年中内國市價の動き下の如し。(單位相當 白貨「フラン」)

品 種	2月1日	3月1日	6月1日	8月1日	11月1日	12月1日
Fonte de moulage (charleroi)	620	625	630	630	595	595
Fonte thomas	570	575	580	580	585	585
Blooms	750	825	850	855	856.5	857.5
Billetes	800	850	880	885	887	887
Largets	840	900	910	915	917	917
Barres en Acier	850	950	975	1,000	1,075	1,075
Poutrelles	825	925	900	900	940	940
Rails	1,100	1,100	1,100	1,250	1,250	1,250
Verge	1,000	1,200	1,105	1,150	1,100	1,100
Rods	925	950	1,050	1,100	1,125	1,175
Toles fortes thomas	1,080	1,110	1,235	1,130	1,140	1,140
Tolesfortes métal homogène	1,090	1,120	1,160	1,150	1,260	1,300

又輸出價格の動きは下の如し。

品 種	2月1日 磅-志-片	3月1日 磅-志-片	6月1日 磅-志-片	8月1日 磅-志-片	11月1日 磅-志-片	12月1日 磅-志-片
Blooms	4-2-0	4-7-6	4-10-0	4-8-0	4-8-0	4-8-0
Billetes	4-7-0	4-14-0	4-14-0	4-13-0	4-10-0	5-0-0
Largets	4-10-0	4-17-6	4-19-0	4-17-6	5-2-0	5-1-0
Barres	5-2-6	5-17-0	5-19-0	5-16-3	6-5-0	6-2-6
Poutrelles	4-12-6	5-5-6	5-16-0	5-0-0	5-5-0	5-4-0
Rails	6-16-0	6-16-0	4-19-0	6-0-0	6-16-0	6-10-0
Verges	5-10-0	5-10-0	6-10-0	6-2-6	6-5-0	6-5-0
Rods	5-2-6	5-12-6	7-7-6	6-12-6	6-10-0	6-17-6
Toles fortes thomas	6-0-0	6-5-0	6-10-0	6-8-0	6-8-0	6-7-0
Toles fortes métal homogène	6-2-6	6-7-6	6-12-6	6-12-0	6-12-0	6-12-0

尙ほ昨年中鐵鑛業界の趨勢は大企業に集中する運動顯著にして二三併合の實現を見たり(海外經濟事情第二年第十三號)